
らびうこーる

マサト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

らびうこーる

【Nコード】

N5758C

【作者名】

マサト

【あらすじ】

愛してる愛してるねえ聞してる？

僕なんていう人間ははっきり言って、落ちて落ちて落ちてしまった落ちこぼれくらいが丁度いい。

当時通っていた、偏差値普通の高校などとの昔に馬鹿校となり、少々寂しいビールなしの生活ライフを送ってるというわけで。おまけについて最近、リストラなんてくらっちゃって、収入源がパチンコのみという悲劇。でもパチンコをしている間は二番目に幸せなんだ。だってそんなことさえ忘れちゃうから。

でも落ちて落ちて落ちてしまった落ちこぼれの中でも唯一、僕には希望の光があるんだ。それは二年前に出会ったヒズミちゃん！彼女だけが僕の女神様なの。ううん、彼女だけでいいや。そう、ヒズミちゃんだけが、僕を癒してくれる素敵な神様。

そんな彼女に僕は、いつでも祈りを捧げてるんだ。例えば気を紛らわせる散歩途中、ヒズミちゃんと永遠に呟いたり、ヒズミちゃんを撮った写真を見ながらデレデレしたり、彼女と僕の電話が動き出すように願ってみたり……。日によって捧げる祈りは様々だ。

そこで。今日もお祈りをしようと思う。最近、電話をしていないから、昼食でも抜いて長電話をしよう。

愛しいヒズミちゃんへの電話、電話。いけない、顔がニヤついてそう。いけない、ヒズミちゃんに嫌われちゃう。

8、0、3、8、Z、Z、3、8、Z、Z、3、ヒズミちゃんとつながるための、素敵な番号だ。ベルに感謝感謝。

「ああ、ヒズミちゃん？ 愛してるよ、僕が一番に考えるのはヒズミちゃんだから！ あ、誰だかわかる？ 僕だよ僕、ネバオ！ ちょっとさあー、ひっさしぶっりに、ヒズミちゃんのきゃわいい声が聞きたくなっちゃって！

それで、今日はね。何で電話したかって言うかね。いつものようにお祈りじゃあないんだなあこれが。デートのお誘いだよ！ 愛されてるね、ヒズミちゃん！ ふふ、ハトだらけの公園に僕がごしうたーい！ ……ごめんね、本当は僕だってヒズミちゃんに高級フレンチでも食べさせてあげたいけど、そんなことしたら僕の死は確定しちゃうからできないや。そんなことになったらさ、ヒズミちゃんと会えなくなっちゃうから……」

『あきらめ悪いなセクハラ教師。俺がお前をもっと不幸にしてやるから覚えてろ』

毎度のように、受話器の向こう側からは、低い男の声が聞こえ、ヒズミちゃんの声は聞こえなかった。それは聞き覚えのある男子生徒の声でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5758c/>

らびうこーる

2010年10月20日08時50分発行